

国際農業科学プログラム(農学)

専門科目(国際農業科学プログラム(農学))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBNK001	生物圏資源科学講究I	6	1.0	1	通年	集中		大澤 良, 柴 博史, 草野 都, 木下 奈都子, 王 寧, 矢野 亮一, 津田 麻衣, 津田 吉晃, 村中 聡, プザス ディアナ ミハエラ, ロンバルド ファビエン クロード レノー, 谷 尚樹, 山岡 裕一, 林 久喜, 田村 憲司, 野村 港二, 江面 浩, 加藤 盛夫, 菅谷 純子, 阿部 淳一, ピーター, 福田 直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川 誠一, 松倉 千昭, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 川田 清和, 有泉 亨, 野中 聡子, 浅野 眞希, 津村 義彦, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 石賀 康博	人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な利用などに関わる生物圏資源生産学分野および生物圏環境の持続的な制御・管理手法の開発および森林生態環境の持続的保全科学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK002	生物圏資源科学講究II	6	1.0	2	通年	集中		大澤 良, 柴 博史, 草野 都, 木下 奈都子, 王 寧, 矢野 亮一, 津田 麻衣, 津田 吉晃, 村中 聡, プザス ディアナ ミハエラ, ロンバルド ファビエン クロード レノー, 谷 尚樹, 山岡 裕一, 林 久喜, 田村 憲司, 野村 港二, 江面 浩, 加藤 盛夫, 菅谷 純子, 阿部 淳一, ピーター, 福田 直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川 誠一, 松倉 千昭, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 川田 清和, 有泉 亨, 野中 聡子, 浅野 眞希, 津村 義彦, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 石賀 康博	人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な利用などに関わる生物圏資源生産学分野および生物圏環境の持続的な制御・管理手法の開発および森林生態環境の持続的保全科学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIにおいては、主として考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0BNK003	生物圏資源科学講究III	6	1.0	3	通年	集中		大澤 良, 柴 博史, 草野 都, 木下 奈都子, 王 寧, 矢野 亮一, 津田 麻衣, 津田 吉兎, 村中 聡, フザス ディアナ, ミハエラ, ロンバルド, ファビエン, クロード, レノー, 谷 尚樹, 山岡 裕一, 林 久喜, 田村 憲司, 野村 港二, 江面 浩, 加藤 盛夫, 菅谷 純子, 阿部 淳一, ビーター, 福田 直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川 誠一, 松倉 千昭, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 川田 清和, 有泉 亨, 野中 聡子, 浅野 眞希, 津村 義彦, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 石賀 康博	人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な利用などに関わる生物圏資源生産学分野および生物圏環境の持続的な制御・管理手法の開発および森林生態環境の持続的保全科学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
0BNK101	エコリージョン基盤開発学講究I	6	1.0	1	通年	集中		大澤 光, 足立 泰久, 野口 良造, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 石井 敦, 山川 陽祐, 山下 祐司, 宮本 輝仁	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
0BNK102	エコリージョン基盤開発学講究II	6	1.0	2	通年	集中		大澤 光, 足立 泰久, 野口 良造, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 石井 敦, 山川 陽祐, 山下 祐司, 宮本 輝仁	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIにおいては、主として考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBNK103	エコリージョン基盤開発学講究III	6	1.0	3	通年	集中		大澤 光, 足立 泰久, 野口 良造, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 石井 敦, 山川 陽祐, 山下 祐司, 宮本 輝仁	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK111	食料・バイオマス科学講究I	6	1.0	1	通年	集中		等々力 節子, 宮崎 均, 梶山 幹夫, 北村 豊, 小幡谷 英一, 中川 明子, ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 江前 敏晴, 小杉 昭彦, 山田 竜彦	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK112	食料・バイオマス科学講究II	6	1.0	2	通年	集中		等々力 節子, 宮崎 均, 梶山 幹夫, 北村 豊, 小幡谷 英一, 中川 明子, ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 江前 敏晴, 小杉 昭彦, 山田 竜彦	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK113	食料・バイオマス科学講究III	6	1.0	3	通年	集中		等々力 節子, 宮崎 均, 梶山 幹夫, 北村 豊, 小幡谷 英一, 中川 明子, ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 江前 敏晴, 小杉 昭彦, 山田 竜彦	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK121	地域システム経済学講究I	6	1.0	1	通年	集中		小林 慎太郎, 茂野 隆一, 立花 敏, 松下 秀介, 興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和, 古家 淳, 平野 悠一郎	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBNK122	地域システム経済学講 究II	6	1.0	2	通年	集中		小林 慎太郎, 茂野 隆一, 立花 敏, 松 下 秀介, 興梠 克 久, 首藤 久人, 氏 家 清和, 古家 淳, 平野 悠一郎	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的 調和の上にエコリージョンが形成されるという コンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢 献する高度な専門的・総合的能力を有する人材 を養成することを目標として、適正技術の開発 可能性およびその社会化を評価する地域システ ム経済学に関する学術論文等を通して既存研究 の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を 把握できるように指導する。さらに、実験の進 め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づ く考察・討論の進め方、英語の原著論文および 学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論 の深化の手法、それを反映した研究計画の修正 等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関す る理解を深める。	
OBNK123	地域システム経済学講 究III	6	1.0	3	通年	集中		小林 慎太郎, 茂野 隆一, 立花 敏, 松 下 秀介, 興梠 克 久, 首藤 久人, 氏 家 清和, 古家 淳, 平野 悠一郎	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的 調和の上にエコリージョンが形成されるという コンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢 献する高度な専門的・総合的能力を有する人材 を養成することを目標として、適正技術の開発 可能性およびその社会化を評価する地域システ ム経済学に関する学術論文等を通して既存研究 の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を 把握できるように指導する。さらに、実験の進 め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づ く考察・討論の進め方、英語の原著論文および 学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及 び学位の作成方法について具体的に指導する。 研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK201	先端農業技術科学講究I	6	1.0	1	通年	応談		國久 美由紀, 深津 時広, 田中 剛, 松 井 勝弘, 杉浦 俊 彦, 小野崎 隆, 西 島 隆明, 中山 真 義, 三森 眞琴, 田 島 清, 田中 淳一	先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型 農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源 の作出と利用、農業科学と情報科学を融合する フィールドインフォマティクス、生産・管理シ ステム、家畜生産機能制御の各研究分野に関 する学術論文等を通して既存研究の内容を理解し て専門知識を広め、研究動向を把握できるよ うに指導する。さらに、実験の進め方、得られ た結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の 進め方、英語の原著論文および学位論文の作成 方法について具体的指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、ま とめ方および学会発表の方法を中心に指導す る。研究倫理に関する理解を深める。	連携学生に限る
OBNK202	先端農業技術科学講究 II	6	1.0	2	通年	応談		國久 美由紀, 深津 時広, 田中 剛, 松 井 勝弘, 杉浦 俊 彦, 小野崎 隆, 西 島 隆明, 中山 真 義, 三森 眞琴, 田 島 清, 田中 淳一	先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型 農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源 の作出と利用、農業科学と情報科学を融合する フィールドインフォマティクス、生産・管理シ ステム、家畜生産機能制御の各研究分野に関 する学術論文等を通して既存研究の内容を理解し て専門知識を広め、研究動向を把握できるよ うに指導する。さらに、実験の進め方、得られ た結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の 進め方、英語の原著論文および学位論文の作成 方法について具体的指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論 の深化の手法、それを反映した研究計画の修正 等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関す る理解を深める。	連携学生に限る
OBNK203	先端農業技術科学講究 III	6	1.0	3	通年	集中		國久 美由紀, 深津 時広, 田中 剛, 松 井 勝弘, 杉浦 俊 彦, 小野崎 隆, 西 島 隆明, 中山 真 義, 三森 眞琴, 田 島 清, 田中 淳一	先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型 農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源 の作出と利用、農業科学と情報科学を融合する フィールドインフォマティクス、生産・管理シ ステム、家畜生産機能制御の各研究分野に関 する学術論文等を通して既存研究の内容を理解し て専門知識を広め、研究動向を把握できるよ うに指導する。さらに、実験の進め方、得られ た結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の 進め方、英語の原著論文および学位論文の作成 方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及 び学位の作成方法について具体的に指導する。 研究倫理に関する理解を深める。	連携学生に限る